

テーマ 地域の記憶を残す、未来づくりに役立てる「綾の肖像プラン」

概要

「綾の肖像プロジェクト」とは、集落の記録・記憶を残しつつないでいくことを目的に、綾町役場と地域資源創成学部農村社会学研究室が連携して実施する取り組みです。綾町には22の自治公民館（地区）があります。その中には、山間部の小規模高齢化集落がいくつか存在し、住民の皆さんは消滅の危機と向き合っています。そこで、集落の各ご家庭で大切に保存されている、地域の風景や暮らしが分かる写真をデジタルデータ化しています。地域活動や暮らし・仕事・祭りなどの思い出、集落に対する思いなどを聞き取り、次世代につないでいこうと2020年11月にスタートしました。



1939年竹野地区（製材所前）



1950年頃 倉輪地区（自宅での冠婚葬祭）



1966年久木野々地区（釈迦岳登山）

プロジェクトを通じた学生の成長

- 就職観の養成
- 地域づくの興味関心が向上
- ファシリテート力の向上

社会貢献の成果

- 綾町の魅力を感じ、将来の不安を実感
- ワークショップ手法の体験
- 自治公民館活動の魅力再発見

中学生向け未来づくりワークショップ

2023年、プロジェクトに関わる学生17名が綾中学校を訪問し、2年生78名と一緒に未来づくりワークショップを実施。大学生がファシリテートしながら、中学生と一緒に綾町の未来を考えました。 <https://www.miyazaki-u.ac.jp/newsrelease/topics-info/post-1092.html>

